

授業に関するアンケート（2018 年度秋学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね 4 ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
キリスト教・同志社関係科目

（1）授業実施に関する質問結果について

1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。
・肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が 89%以上を占めている。 ・「わからない」と回答した回答の割合が 7.5%と、やや高めであったが、担当者によって大きな差異が見られた。
2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。
・肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 83%と、春学期より約 4 ポイント上昇した。 ・春学期同様、担当者あるいはクラスにより「そう思う」と「ややそう思う」の割合等に大きな差が見られた。
3. 授業レベルは自分に合っていましたか。
・肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 79%と、春が来より 6 ポイント上昇した。 ・「わからない」との回答率が若干高めだが、10%を超えるクラスも散見された。
4. 教員からの一方的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていたか。
・肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 74%であった。 ・評定平均値が、全学の平均値と比べて若干低くなっている。
5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
・肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 65%であった。 ・評定平均値が、全学の平均値と比べて若干低くなっている。
6. 言葉による説明だけではなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていたか。
・肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 84%であった。 ・科目や担当教員による大きな差異や傾向は見出せなかった。
7. 自主学習を促す工夫がなされていたか。
・肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 57%と、春学期より 8 ポイント上昇したが、全学平均値と比べると、若干低くなっている。 ・「わからない」という回答率が全学平均値よりも高めであるほか、全体的に、担当教員による差異が大きい傾向が見られる。
8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。
・一番回答の多かった「パワーポイント等」の選択率が 18.5%と春学期とほぼ同じであったが、「話し方」については 7.3%と、春学期よりも 2 ポイント程減少している。 ・「私語対応」が 3.6%と、他の科目区分と比べると高くなっている。

（2）この授業の学修行動に関する質問結果について

9. この授業の予習、復習、自主学習に 1 週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。 ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。
・「30 分未満」の選択率が 78.8%と圧倒的多数を占めている。 ・時間換算期待値が 0.45 と、他の科目区分と比べると低くなっている。
10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。
・否定的な評価（あまりそう思わない、そう思わない）が 58%と、肯定的な評価を上回っている。 ・「わからない」という回答も 12.7%と、比較的高くなっている。
11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
・肯定的評価、否定的評価ともに、春学期とほぼ同じ結果となった。 ・評定平均値が 2.42 と、他の科目区分と比べると低くなっている。

12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。
・ 「必修」の選択率が 74.3%と圧倒的に多く、他の項目の評価。 ・ 春学期に比較的高かった「先輩・友人の勧め」という回答が、2.3%と、6ポイント程下がった。

（3）この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたか。
・ 肯定的評価（そう思う・ややそう思う）の合計が 75%と、春学期より 6 ポイント上昇した。 ・ 科目や担当教員による大きな差異や傾向は見出せなかった。
14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
・ 肯定的評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 66%であった。 ・ 「わからない」という回答も 13.7%と、他の科目区分と比べて高くなっている。
15. DWCLA10 の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください（複数選択可、なしも可）。
・ 「思考力」の選択率が 43.8%で最多であった。このことは本科目区分が道徳や社会的・宗教的規範を教えるものでなく、当然のこととして学術的内容で構成されていることを裏付けられると思われる。 ・ 「思いやる力」の選択率が 16.8%と比較的高い。このことは本科目区分が建学の精神を伝える役割を果たすことに一定程度成功していることを裏付けられると思われる。

（4）その他

概ね、春学期より評点平均値が上昇しており、例年並みとなっている。 いくつかの質問項目で、科目区分中、最も低い評点平均値となっている。 「わからない」という回答が比較的高く、これが、受講生のアンケートに対する消極的な態度の影響なのか、授業内容や到達目標の認識不足等の影響なのか、あるいは他の要因によるものなのか、検討する必要もあるように感じた。
--